

平成27年1月6日

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	水産技術センター	氏名	寺門弘悦
派遣先 団体名	美川公民館		
① 研修の日時・場所 平成26年11月11日（火）11時～12時 芋煮会の事前打合（於 美川公民館） " 12日（水）13時～16時 芋煮会の準備（於 鍋石地区） " 15日（土）8時～16時 芋煮会の準備（於 鍋石地区） " 16日（日）8時～16時 芋煮会の開催・撤収作業（於 鍋石地区） 平成26年12月4日（木）13時～15時 しめ縄の指導者講習会（於 美川公民館） " 18日（木）9時～12時 しめ縄講習会（於 浜田市立第四中学校）			
② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。） 美川公民館の事業である芋煮会としめ縄講習会の開催をサポートした。 芋煮会は活動の主体である「美川山里を活かす会」が浜田市内山間部の鍋石地区の会場において、里芋商品（里芋汁、里芋コロッケ、里芋だんご、里芋焼き等）・野菜（大根、里芋、蒟蒻芋等）の販売、イベント（栗焼き、種まき体験）を行うものである。芋煮会では運営スタッフ（51名）の一員として、開催前（11/12）に里芋の収穫・洗浄、開催前日（11/15）に会場への器材搬送・設営、開催当日（11/16）に会場設営・栗焼きコーナーの担当・撤収作業を行った。当日の来場者数は500名以上と思われる。 しめ縄講習会（12/18）では、指導者（約50名）の一人として美川地区の幼稚園児・小中学生（約110名）のしめ縄づくりをサポートした。しめ縄の作り方は事前に開催された指導者講習会（12/4）で習得した。 なお、本研修には私を含む3名の県職員が参加した（他2名は浜田水産高校、産業技術センターの職員）。			
③ 研修の感想 （研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。） 美川山里を活かす会は、鍋石地区の地域活性化を目的に活動するもので、今回の芋煮会は地域の特産品である里芋を使ったイベントである。この会のメンバーは、地元鍋石地区の方は数名しかおらず、他は浜田市内全域からのボランティアメンバーである。鍋石地区のメンバーの方は「今自分たちが何かせんと地域から人がいなくなる」と言っておられ、地域の人口減少を危惧する本音だと感じた。今回の研修を通じて、こうした活動に対して行政として補助金交付による支援だけでなく、職員自らが活動に参画することも有意義な支援になると感じた。 しめ縄講習会は子供たちにしめ縄の意味合いや作り方を伝える大事な地域行事である。今では気軽に買えるしめ縄だが、その意味合いを理解している人は世代が若くなるにつれて少なくなっており、この講習会の意義が実感できた。実際、指導者の一人として参加していた浜田商業高校生は、幼少中時代にこの講習会でしめ縄の作製技術を学んでおり、次の世代に伝える役			

割に育っている。私はこの機会ですべて初めてしめ縄づくりを経験し、しめ縄の持つ意味合いも勉強できた。この講習会の指導者数は減少傾向にあり、限られた時間内で子供たちにつくり方を教えるためには、指導者の数は多いほど(一人の指導者が二人の子供をみられる程度)嬉しいとのことであった。島根県職員として少しでも地域活動の手伝いをしたいと思い、次回も指導者として参加出来れば良いと考えている。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

特になし

(注)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。